

守るために
日常を
当たり前の



令和3年度 佐賀大学 特別公開講座 都市の防災・減災

今年や一昨年の8月に佐賀県で発生した豪雨災害や令和2年7月の九州豪雨災害など、毎年のように起きる自然災害は、大きな被害をもたらし、私たちの防災対策がまだまだ十分ではないことを思い知らされます。私たちは災害から家族の命や日常の生活を守るためにも、防災・減災に総力を挙げて取り組む必要があります。

本講座では、佐賀大学工学部都市工学部門とSDGsプロジェクト研究所（地域防災減災研究プロジェクト）の共催により、佐賀を中心とした地震、豪雨等により発生する災害の事例を紹介し、各種災害の発生要因や防災・減災の考え方や対策技術、災害に強いまちづくりなどについて、わかりやすく市民の皆様にご説明します。

◆ 日時：10月2日（土）/10月9日（土）、13：00～17：50（開場：12：30）

◆ 受講料：無料

◆ 定員：100人

主催：佐賀大学

共催：佐賀大学 工学部 都市工学部門、SDGsプロジェクト研究所（地域防災減災研究プロジェクト）

本講座では、防災・減災の分野の第一線で活躍している本学研究者が、水・土砂災害、地震災害など都市に内在する自然災害に対する防災・減災について計6回の講義を行います。佐賀低平地ならではの自然災害についても、最新の研究成果や社会実装の事例をご紹介します。

スケジュール

	回	時間	テーマ	講師
10月2日(土)	第1回	13:00～14:30	本講座の全体ガイダンス・災害調査から見てきた近年の豪雨災害と今後の防災・減災	大串 浩一郎 理工学部教授
	第2回	14:40～16:10	佐賀県における地盤災害のアーカイブとその判読に関する最近の動向	日野 剛徳 理工学部教授
	第3回	16:20～17:50	都市計画からみた佐賀低平地の防災・減災	猪八重 拓郎 理工学部准教授

	回	時間	テーマ	講師
10月9日(土)	第4回	13:00～14:30	近年の豪雨災害と今後に向けた治水適応策	押川 英夫 理工学部准教授
	第5回	14:40～16:10	佐賀県内に想定される地震と地震防災上の基礎知識	井嶋 克志 理工学部教授
	第6回	16:20～17:50	水災害としなやかに付き合う住まい・集住	後藤 隆太郎 理工学部准教授

- ・講座は対面およびオンラインのいずれかで受講できます。 ※ オンライン会議システム「Zoom」で配信します。
- ・対面で参加される際は、必ずマスク着用の上、手指の消毒の徹底をお願いいたします。
- ・37.5℃以上の発熱がある方や、体調に不安がある方は、対面での参加はご遠慮ください。
- ・コロナウイルスの感染状況によっては、オンラインでのみの開催となります。

お申し込み

◆ 申込先：<https://bit.ly/3iBG7Px>（右のQRコードからもお申し込みできます）

◆ 申込期限：9月30日（木）12:00まで

※ 上記URLからの申し込みが難しい場合は、生涯学習センターまでご連絡ください。



申込先

佐賀大学 全学教育機構 生涯学習センター

TEL：0952-28-8334 / FAX：0952-28-8991 ※ 電話は平日8:30～17:15まで

mail：kouza@mail.admin.saga-u.ac.jp

会場

◆ 佐賀大学 本庄キャンパス

教養教育 大講義室

・佐賀駅からのアクセス

佐賀駅バスセンターから市営バスで
約15分（約4km）

・佐賀空港からのアクセス

タクシーで約20分

※ 会場までお車でのお越しになる場合、

200円の駐車料金が必要です。予めご了承ください。

